

くらしの^{そうおん}騒音ハンドブックを作りました

くらしの騒音とは、お住まいの住居において、他の住居の生活音(人の声や家電の音など)や共用部分から生じる音のうち、**不快に感じられる音**のことです。



Q ハンドブックはどうやって使うの？

くらしの騒音は、原因が様々で、個人により感じ方が異なるという特徴があります。
そこで、関係者間の相互理解や良好なコミュニケーションを促すため、このハンドブックを作成しました。
くらしやすい環境作りのために、ぜひ、ご活用ください。

Q どんな内容なの？

マンションなどの共同住宅に居住する方や関係者を対象に、くらしの騒音問題の未然防止や、早期解決に役立つ情報を掲載しています。

ハンドブックの内容

くらしの騒音の
特徴

くらしの騒音の
原因・対策

共同住宅の
ルール

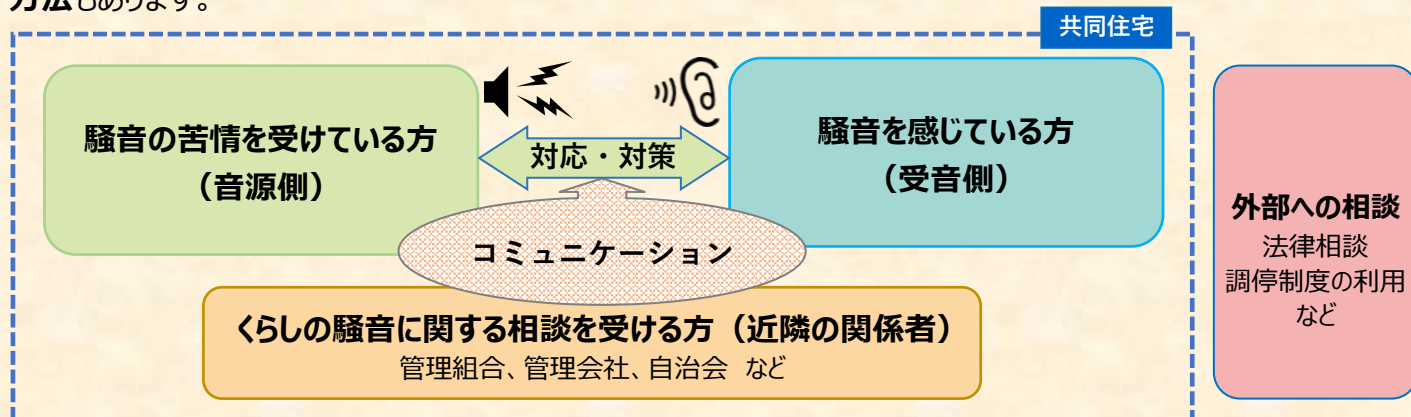
相談先

など

くらしの騒音問題 と 関係者

くらしの騒音は、誰しもが被害者にも加害者にもなり得るため、必要に応じて管理組合や管理会社など近隣の関係者の協力を受け、**良好なコミュニケーションを図る**ことが望めます。

そのため、関係者間のコミュニケーションが難しいときは、法律相談や調停制度の利用など**外部機関を利用する方法**もあります。



共同住宅のくらしの ポイント

共同住宅でくらすうえで、ご近所の生活音が聞こえることは、**珍しいことではありません**。

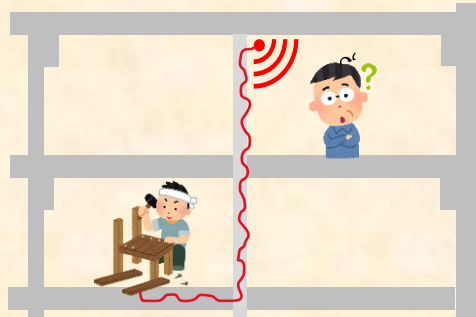
音が持つ性質を踏まえ、次のようなポイントに留意することで、問題の未然防止や早期解決に繋がることがあります。

くらしの騒音を感じている方(受音側)

共同住宅は音の伝わり方が複雑であるため、**音源を決めつけられないことが大切です**。

音源を勘違いしたまま苦情を伝えてしまうと、本当の音源を特定するための協力を受けることが難しくなる場合や問題がこじれてしまう場合もあります。

音源側に苦情を伝える際は、あまり感情的にならず、**自身の状況を具体的に伝えることにより、相互理解を図ることが大切です**。



くらしの騒音の苦情を受けている方(音源側)

歩行音や跳びはね音、重い荷物を床に置いた時の音など、**比較的強く柔らかい物が床に衝突して生じる、「ドンドン」「ドスドスン」という音は、物理的な対策が難しく、厚さ 1 cm 程度のマットを敷いても大きな効果は期待できません**。

食器や玩具が床に落ちる音や、イスを引きずる音など、**比較的軽く硬い物が床に衝突する音は、厚さ 1 cm 程度のマットを敷くだけでも、下階に伝わる音の改善が期待できます**。



日頃から挨拶やコミュニケーションに気をつけ**人間関係を築いておくことが、くらしの騒音問題を防止する上で有効**と考えられます。詳しくは、以下から御確認ください。

大阪府 くらしの騒音ハンドブック

検索

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120080/kotsukankyo/oto/handbook.html>



©2014 大阪府もずやん